

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部	職名 准教授	氏名 高宮正貴	大学院における研究 指導担当資格の有無	無	
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
1. グループのワークシートおよびを利用した対話型・参加型授業の実践	平成25年4月～平成31年3月	毎回の講義では、教員が与えた問いについて、学生がグループで話し合い解答とその理由を話し合う時間を取っている。それによって、授業で学習する問題について主体的に考えることができ、思考力を高める効果を狙っている。(教育原論、教育原理、道徳教育の指導法B、道徳教育の理論と実践)			
2 作成した教科書、教材、参考書					
1. 授業用ファイル (教育原論、教育原理、道徳教育の指導法B、道徳教育の理論と実践)	平成27年4月～平成31年3月	講義用のプリントを講義初回にファイルに束ねさせ、配布した。学生が講義初回の時点で講義15回の全体像を把握できるようにし、学習への動機づけを行うことができるようにするためである。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
特記事項なし					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
1. 大阪体育大学 教員採用試験対策支援講座	平成25年10月～現在	学内の教員採用試験対策支援ゼミで講師を務めている (教育史、他)。			
II 研究活動					
著書 (単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
価値観を広げる道徳授業づくり：教材の価値分析で発問力を高める	高宮正貴	245頁	北大路書房	京都	令和2年10月
J.S.ミルの教育思想：自由と平等はいかに両立するのか	高宮正貴	185頁	世織書房	神奈川	令和3年2月
著書 (共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初 (始) 頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
第1講「子どもの発達と教育の目的」、第2講「教育とは何か」、第3講「学校の歴史」/教育原理 (よくわかる! 教職エクササイズ)	島田和幸、高宮正貴編著 /森田健宏、田爪宏二監修	6頁～39頁	ミネルヴァ書房	京都	平成30年10月
第2章「なぜ公教育は必要なのか?」、第8章「子どもに価値を押し付けてよいのだろうか?」/ワークで学ぶ教育学 [増補改訂版]	尾崎博美、渡邊福太郎、高宮正貴他 /井藤元	17頁～29頁、94頁～107頁	ナカニシヤ出版	京都	令和2年3月
第18章「道徳の授業ではどんな発問をしたらよのだろうか?—発問のつくり方」/ワークで学ぶ道徳教育 [増補改訂版]	平石晃樹、渡邊福太郎、高宮正貴他 /井藤元	237頁～249頁	ナカニシヤ出版	京都	令和2年3月
価値観を広げる道徳授業づくり—教材の価値分析で発問力を高める	高宮正貴	245頁	北大路書房	京都	令和2年10月
第3章「道徳を支える思想」/道徳教育の理論と方法	藤井基貴、山田真由美、高宮正貴他 /走井洋一	28頁～40頁	ミネルヴァ書房	京都	令和2年11月
J.S.ミルの教育思想—自由と平等はいかに両立するのか	高宮正貴	185頁	世織書房	神奈川	令和3年2月
第8章「道徳性の概念と道徳教育—義務論と幸福論の類型をもとに」/道徳教育はいかにあるべきか—歴史・理論・実践	貝塚茂樹、水野雄司、江島顕一、高宮正貴他 /道徳教育学フロンティア研究会編	129頁～151頁	ミネルヴァ書房	京都	令和3年3月
第9章「『特別の教科 道徳』における教科書と教材」/道徳教育の変遷・展開・展望 (新道徳教育全集 第1巻)	日本道徳教育学会全集編集委員会	89頁～98頁	学文社	岡山	令和3年6月
第8章 ミル/諸外国の道徳教育の動向と展望 (新道徳教育全集 第2巻)	柳沼良太、行安茂、西野真由美、高宮正貴他 /日本道徳教育学会全集編集委員会	53頁～58頁	学文社	岡山	令和3年6月
第4章「J.S.ミルの功利主義とデューイ倫理学との関係」/デューイの思想形成と経験の成長過程: デューイ没後70周年記念論集	行安 茂編	72頁～82頁	北樹出版	東京	令和4年5月
第6章「カント主義的構成主義による内容項目の正当化」/続・道徳教育はいかにあるべきか: 歴史・理論・実践・展望	走井洋一、水野雄司、貝塚茂樹、高宮正貴他 /道徳教育学フロンティア研究会	93頁～108頁	ミネルヴァ書房	京都	令和4年11月
道徳的判断力を育む授業づくり: 多面的・多角的な教材の読み方と発問	高宮正貴、杉本遼	200頁	北大路書房	京都	令和4年12月

第一二章「道徳科における「指導と評価の一体化」と授業づくりの方法」／道徳教育の地図を描く—理論・制度・歴史から方法・実践まで	朱喜哲、小田亮、高宮正貴他 ／岸本智典編著	356頁	教育評論社	東京	令和4年12月
「道徳的判断力を育む—本質主義と進歩主義の若いのために」／道徳は本当に教えられるのか—未来から考える道徳教育への12の提言	走井 洋一、荒木 寿友、高宮 正貴他 ／田沼 茂紀編	60頁～79頁	東洋館出版社	東京	令和5年1月
第6章2「道徳科の評価」	池田賢市、松嶋哲哉、高宮正貴 ／下司晶編著	122頁～129頁	学文社	東京	令和5年3月

原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）

題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
コロキウム 〈教育思想史〉の誕生(2)ベスタロッチと英米教育思想史	相馬伸一、下司晶、椋木香子、高宮正貴、岸本智典、眞壁宏幹	近代教育フォーラム	27	118頁～124頁	平成30年9月
教育における分配的正義の諸理論とその問題	高宮正貴	大阪体育大学教育学研究	3	1頁～24頁	平成31年3月
研究状況報告 教育と政治の交わりについて再考する：東アジアの若手教育哲学者とともに考える	生澤繁樹、高宮正貴、甄壁徳、梁卓恒、林仁傑	教育哲学研究	119	153頁～159頁	令和元年5月
Reconsidering the Intersection of Politics and Education: East Asian Perspectives	Shigeki Izawa, Masaki Takamiya, Hektor K. T. Yan, Cheuk-Hang Leung, Ren-Jie Vincent Lin	English E-Journal of the Philosophy of Education	4	81頁～87頁	令和元年8月
研究状況報告 教育における分配的正義論の可能性	高宮正貴、児島博紀、橋本憲幸、平井悠介、玉手慎太郎	教育哲学研究	121	147頁～152頁	令和2年5月
リベラルな教育思想における美学の問題—J.S.ミルにおける個性と教育	高宮正貴	近代教育フォーラム	29	25頁～31頁	令和2年9月
コロキウム 教育(学)と政治(学)：「翻訳」から捉える交差と懸隔	高宮正貴	近代教育フォーラム	29	131頁～138頁	令和2年9月
教育における分配的正義論の可能性(2)	高宮正貴	教育哲学研究	123	101頁～106頁	令和3年5月
「間柄」と「尊敬」の倫理学：和辻哲郎とカントから見る道徳の内容項目（「まことの倫理」というアポリア：和辻哲郎と勝田守一の倫理および道徳教育をめぐる思考を中心として）	高宮正貴	近代教育フォーラム	30	50頁～55頁	令和3年9月
レオ・シュトラウスをもとに描く「自然」概念の変容と教育思想史（教育思想史と自然および自然主義）	高宮正貴	近代教育フォーラム	30	117頁～119頁	令和3年9月
道徳授業における「価値の一般化」の再検討：展開後段における「再特殊化」の導入	高宮正貴	大阪体育大学教育学研究	6	51頁～63頁	令和4年2月
道徳観と指導法の対立を超えて—主題別討議報告：倫理的思考と道徳教育	高宮正貴	倫理学年報	71	100頁～103頁	令和4年3月
教育における分配的正義論の可能性(3) 指標と差異	高宮正貴	教育哲学研究	125	94頁～99頁	令和4年5月

総説

題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月

その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）

区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
翻訳	東アジアに於いて人間になること：台湾の観点（東アジアに於いて「人間」であること）	単 Hung Ruyi、高宮 正貴訳	教育哲学研究	117	46頁～54頁	平成30年5月
書評	平井悠介著『エイミー・ガットマンの教育理論：現代アメリカの教育哲学における平等論の変容』	単 高宮正貴	近代教育フォーラム	27	145頁～148頁	平成30年9月
書評	内田良・苫野一徳 著『みらいの教育 学校現場をブラックからワクワクへ変える』	単 高宮正貴	思考と対話	1	72頁	令和元年5月
書評	田畑真一・玉手慎太郎・山本圭編著『政治において正しいとはどういうことか：ポスト基礎付け主義と規範の行方』	単 高宮正貴	立命館アジア・日本研究学術年報	1	121頁～124頁	令和2年6月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内(他)	平成30年10月	教育哲学会第61回大会	Reconsidering the Intersection of Politics and Education	山梨学院短期大学	Shigeki Izawa, Masaki Takamiya, Hektor K. T. Yan, Cheuk-Hang Leung, Ren-Jie Vincent Lin
国際	平成31年1月	Asian Link of Philosophy of Education 2019 Winter Seminar	Theories of distributive justice in education and their problems: Prioritarianism or Sufficiencyarianism?	国立嘉義大学, 台湾	高宮正貴
国内(一般演題)	令和元年8月	日本イギリス理想主義学会2019年度研究大会	J.S.ミルの正義論と教育思想	同志社大学	高宮正貴

国内(他)	令和元年9月	教育思想史学会第29回大会	教育(学)と政治(学):「翻訳」から捉える交差と懸隔(コロキウム)	立教大学	室井麗子、高宮正貴、生澤繁樹、藤井佳世、エディ・デュブルモン
国内(他)	令和元年10月	教育哲学会第62回大会	教育における分配的正義論の可能性(ラウンドテーブル)	広島大学	高宮正貴、児島博紀、橋本憲幸、平井悠介
国内(一般演題)	令和元年11月	日本道德教育学会第94回大会	道德性の概念と道德教育:アリストテレス、カント、ミル、デューイの比較から	広島大学	高宮正貴
国内(他)	令和2年9月	教育思想史学会 第30回大会	レオ・シュトラウスの政治思想史から見る「自然」概念の変容と教育思想史(コロキウム1 教育思想史と自然および自然主義)	オンデマンド	企画者:綾井桜子、司会者:河野桃子、報告者:相馬伸一、高宮正貴、指定討論者:今井康雄
国内(他)	令和2年10月	教育哲学会第63回大会	教育における分配的正義論の可能性(2)(ラウンドテーブル2)	日本大学(オンライン)	企画者・提案者:高宮正貴、提案者:橋本憲幸、児島博紀、指定討論者:生澤繁樹
国内(一般演題)	令和2年11月	日本道德教育学会第96回(2020年度秋季)大会	道德教育・道德授業におけるイデオロギー論の意義と活用	畿央大学(オンライン開催)	高宮正貴
国内(一般演題)	令和3年6月	日本道德教育学会第97回(2021年度春季)大会	カント倫理学に基づく道德の内容項目の研究	宇都宮大学(オンライン開催)	高宮正貴
国内(一般演題)	令和3年8月	日本教育学会大会研究発表要項	公教育としての道德教育の正当化	オンライン開催	高宮正貴
国内(他)	令和3年9月	教育哲学会第64回大会	教育における分配的正義論の可能性(3)―指標と差異―(ラウンドテーブル1)	愛知教育大学(オンライン開催)	企画者・提案者:高宮正貴、橋本憲幸、児島博紀、司会者:生澤繁樹
国内(シンポ)	令和3年10月	第72回日本倫理学会	主題別討議 倫理的思考と道德教育	オンライン学会	中川雅道、土屋陽介、高宮正貴
国内(一般演題)	令和4年6月	日本道德教育学会第99回(令和4年度春季)大会	内容項目「感動、畏敬の念」の研究―パークとカントをもとに	東京家政大学を発信基地とし、Zoomによるオンライン開催	高宮正貴
国内(シンポ)	令和4年8月	Asian Link of Philosophy of Education Summer 2022 Seminar	How Can Japanese Moral Education Meet Western Ethics?(East Asian Responses to Modern Education: Perspectives from Japan, Taiwan and Korea)	オンライン学会	高宮正貴
国内(他)	令和4年9月	教育思想史学会第32回大会	教育思想史の特殊性はいかに考えられたか―歴史叙述のなかの科学/技芸としての教育―	同志社大学+Zoom	企画者・提案者:岸本智典、報告者:岸本智典、高宮正貴、指定討論者:小山裕樹
国内(シンポ)	令和5年2月	日本道德教育学会近畿支部 第10回道德セミナー	道德科における「深い学び」を実現する授業とは? ~中学校道德科教材「二通の手紙」を題材に~	四天王寺大学	高宮正貴

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
科学研究費	補助金 基盤研究(B)	教育思想史のメタヒストリー的研究	分担	H29-R2	1,320万円
科学研究費	補助金 基盤研究(B)	政治学との接合による規範的教育学の再構築	代表	R2-R4	1,352万円
その他の助成金	上廣倫理財団 研究者公募助成研究A	道德教育の内容項目の体系化のための倫理学的研究	代表	R3-R4	30.6万円
科学研究費	科学研究費助成事業 基盤研究○	西洋教育思想の受容過程の検討をとおした教育思想史像の再構築	分担	R3-R7	41.6万円
科学研究費	科学研究費助成事業 基盤研究○	道德の「教科内容学」構築のための倫理学的・実践的研究	分担	R3-R7	40.3万円
科学研究費	科学研究費助成事業 基盤研究○	「価値認識・自己認識・自己展望」に基づく道德授業力の改善効果に関する実証的研究	分担	R3-R7	40.3万円

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国

III 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成16年9月	教育哲学会 会員(現在に至る)
平成18年9月	関東教育学会 会員(現在に至る)
平成21年10月	教育哲学会特定課題研究助成「公教育の「正当性」論のための基礎研究―近・現代の倫理学・政治哲学諸理論の比較検討」 研究代表者(平成22年10月まで)
平成24年2月	日本教育学会 会員(現在に至る)
平成24年4月	日本道德教育学会 会員(現在に至る)
平成24年9月	教育思想史学会 会員(現在に至る)
平成27年9月	教育思想史学会 監査(〜平成30年9月)
平成29年12月	日本イギリス理想主義学会 会員
令和3年4月	日本道德教育方法学会 会員(現在に至る)
令和3年7月	日本倫理学会 会員(現在に至る)

令和3年10月	教育思想史学会 編集委員（現在に至る）				
令和4年6月	日本道德教育学会 広報委員（現在に至る）				
社会的活動					
平成30年7月23日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 富田林市立藤沢台小学校				
平成30年8月2日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 岸和田市立桜台中学校				
平成30年8月20日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 橋本市立城山小学校				
平成31年2月28日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 岸和田市立光明小学校				
令和1年12月13日	橋本市立城山小学校 道德科飛び込み授業				
令和2年1月22日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座 道德科研究授業 指導助言 岸和田市立桜台中学校				
令和2年2月7日	橋本市立城山小学校 道德科授業指導案作成				
令和2年2月10日	かつらぎ町立大谷小学校 道德科飛び込み授業				
令和2年2月12日	岸和田市立光明小学校 校内道德教育研修会				
令和2年2月15日	大阪教育大学附属天王寺中学校 ふだんの授業展覧会 道德科				
令和2年2月18日	かつらぎ町立大谷小学校 道德科飛び込み授業				
令和2年2月25日	和歌山県立向陽中学校 道德科教材研究				
令和2年5月31日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 研修講師 泉佐野市立一丘中学校				
令和2年8月19日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 示範授業 泉佐野市立佐野中学校				
令和2年11月12日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 講演 泉佐野市立一丘中学校				
令和2年11月13日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 研究授業講師 泉佐野市立佐野中学校				
令和3年5月31日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 研修講師 泉佐野市立一丘中学校				
令和3年8月6日	大阪体育大学教育学部 教育出前講座（道德） 研修講師 泉佐野市立一丘中学校				
令和3年4月1日～令和4年3月31日	岸和田市立山直中学校 令和3年度 大阪府道德教育推進事業				
令和3年4月1日～令和4年3月31日	岸和田市立光陽中学校 令和4年度 大阪府道德教育推進事業				
IV 管理活動					
期 間	内 容				
委員会活動					
平成31年4月～令和2年3月	教育学部教務委員会				
平成31年4月～令和2年3月	教育学部研究委員会				
平成31年4月～令和2年3月	教育学部FD委員会				
令和3年4月～令和4年3月	教育学部研究委員会				
平成31年4月～令和2年3月	全学キャリア支援委員会				
平成31年4月～令和2年3月	全学情報処理委員会				
特別プロジェクト活動					
平成〇年〇月～平成〇年〇月					
V クラブ活動の指導業績					
1. 指導クラブ名	ダブルダッチ 同好会	2. 役職	2014～部長	3. 部員数	43 人
4. 現場指導の頻度	⑤ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	回	延べ日数：	日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		

10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)

開催期間	大会名	成績	場所

VI 賞罰 (職務に関する賞罰)

年月	受賞等機関名	内容	備考